



津乃峰総合センター建設

津乃峰地区は、平成18年に見能林公民館津乃峰分館が老朽化と耐震面の問題から2次避難所としての指定を解除したことから、新たな避難所の設置が急務となっていました。さらに、南海トラフ巨大地震の最大津波深等が見直され、平成24年11月に公表された津波浸水想定では浸水深が4メートルから5メートルへと大きくなったことから、津乃峰地区の津波避難困難地域における1次避難所も併せて早急に整備する必要があります。

津乃峰総合センターの構造は鉄筋コンクリート造で、一部鉄骨鉄筋コンクリート造の4階建となり、延べ床面積は約1094平方メートル。災害時には1次避難所、2次避難所となり、常時は防災まちづくり拠点として利用できる複合施設として、社会資本整備総合交付金事業を活用して整備を行います。

防災行政無線のデジタル化

防災行政無線は、合併後も旧1市2町それぞれの設備を使用してきたおり、市役所から一斉に放送ができないことや老朽化による故障が懸念されたため、平成24年度からデジタル防災行政無線の整備に着手しています。

これまで、親局を市庁舎に統合し、中継局を市内2カ所に設置したほか、順次、遠隔制御局および屋外拡声子局の整備を行ってまいりました。平成26年度は、旧阿南市内陸部の残りの遠隔制御局と屋外拡声子局の整備を行い、市内全域においてデジタル方式による無線の運用を開始しています。

デジタル防災行政無線の特徴として、国が発信する緊急地震速報などを、通信衛星を経由して瞬時に住民に伝達する「Jアラート」との連動や、ケーブルテレビ自主放送チャンネルへのテロップ挿入、登録者へのメール配信、緊急速報メールの携帯3社同時配信、電話で放送内容の確認ができる電話応答サービス等の機能があります。

また、一部の屋外拡声子局ではアンサーバックと呼ばれる親局との通信機能があり、子局の故障を親局で把握できるほか、子局によっては雨量計データやカメラによる静止画像の伝達が可能となっています。

さらに、付属の外部接続箱に内蔵されたマイクから防災対策課の親局と通信が可能で、非常時には通信手段とし

9月定例市議会 市長所信

9月議会が、9月5日から24日までの20日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題について、市長から所信が表明されます。今議会で表明された主な内容については、次のとおりです。

た、屋外階段を設置し、直接4階屋上への避難を可能とすることにより、津波避難ビルとしての機能も備えています。平成26年8月15日に建築工事の入札を行い、落札業者と仮契約を結んでおり、平成28年4月に運用開始できるよう、鋭意取り組んでまいりたいと考えています。

水道料金徴収等業務の民間委託の成果

水道部業務課では、平成24年10月から株式会社ジェネッツに水道料金徴収等の業務を委託し、民間の滞納整理に関する専門知識やノウハウを活用して、早期の債権回収が可能となるように体制を整備してまいりました。民間委託開始後、まもなく2年が経過いたしましたので、その成果について中間報告をさせていただきます。

まず、歳出面につきまして、平成25年度の業務委託料2793万円に対し、人件費の削減額が年間2100万円と見込まれるため、差し引き693万円の増となりますが、歳入面におきまして、水道料金について、現年度分、過

年度分を合わせて約3千万円の収納効果がありました。以上のことから、水道事業会計での成果として、年間約2300万円の費用対効果額となっております。

また、経済効果といたしまして、男性1人、女性3人、阿南市の方が採用されたことで、地元雇用の促進が図られています。

さらに、電話の応対や窓口業務においても、民間業者ならではの「きめ細やかで丁寧な対応」が好評をいただいております。業務課職員もこのような良い面を取り入れて、来庁された方に「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」等の挨拶を心がけるなど、相乗効果が表れてきています。

水道料金等の納入に関しましては、利用者の負担の公平性と納期限内に納入する秩序を確立するため、平成25年4月から料金滞納者に対する「給水停止処分」を行ってまいりました。今後見極めながら、このような措置を継続して実施する予定ですが、料金の支払い方法等についても引き続きご相談をお受けしたいと考えています。

阿南市イメージアップキャラクター「あななん」

7月市長定例記者会見で「ゆるキャラ®グランプリ2014 in あいち」へのエントリーを宣言しました。同時に市ホームページ上に「あななん」に関する情報をまとめた「あななんの部屋」および「あななんファンクラブ」のフェイスブックページを開設し、「あななん」の人気度アップに取り組んでいます。さらに9月2日からの「ゆるキャラ®グランプリ」投票に合わせて、投票方法を記載したポスターやチラシを製作し、市内の小・中・高等学校への訪問、各種イベントや観光キャンペーンなど、さまざまな機会を通じて「あななん」への投票を呼びかけているところです。

「あななん」の知名度を県内外で高め、「ゆるキャラ®グランプリ」で上位をめざしていくことは、市民が一体となったまちおこしの原動力となるとともに、阿南市を全国にPRする大きなチャンスであると考えていますので、なお一層のご支援をお願いします。

利用できるようになっていきます。なお、まだ戸別受信機の設置と新庁舎建設に伴う機器移設作業が残っていますので、新庁舎高層部完成後に防災対策機器室への移設を行い、防災行政無線のデジタル化工事の完了となる予定です。

冊子『阿南市の先覚者たち』(第一集)の発刊

「本市の発展に大きく貢献された本市ゆかりの先覚者の業績を顕彰し、後世に伝えることで、郷土愛を育み、自分たちのふるさとに誇りを持つてもらいたい」

そんな関係者の熱い思いが実り、このたび、阿南市文化協会創立20周年記念事業として、8月4日に冊子『阿南市の先覚者たち』(第一集)が発刊されました。それぞれの偉業を成し遂げた先覚者に光を当て、調査・研究のうえ執筆されました先生方や発刊に関わっていた方々の皆さまのご尽力に深い感慨を覚え、感謝の念に堪えません。

さらに特筆すべきは、これまで出自が伏せられてきましたハンセン病作家・北條民雄を先覚者の1人として取り上げ、初めて実名・出身地を公表されたことです。9月22日に生誕100年を迎えるにあたり、この冊子が世に送り出されたことに大変意義を感じています。

民雄の代表作ともいえる『いのちの初夜』は、文學界賞を受賞し、ベストセラーにもなっています。その作中で「人間とは何か」という問いに、絶望や無念の思いの中で「人はいのち、そのものである」と書き綴り、「生きる」ことに必死に向かい合った民雄の叫びが伝わってきます。

私自身、このことを広く市民の皆さまに顕彰したいと考え、平成21年に俳優・原田大二郎さんによる人権啓発朗読会を開催し、『広報あなん』でも本年5月号の市長通信や9月号の特集でご紹介してまいりました。

来る9月21日には、北條民雄生誕100年を記念して、民雄の絶望と愛、生命の輝きを克明に描いた『火花』の著者、高山文彦さんをお招きし、市内で講演会を開催します。高山先生には、平成17年にも阿南ひまわり会館でご講演いただき大きな感動を呼びました。郷土が育んだ天才作家の軌跡を追うことで、市民の皆さま方に大きな誇りを持つていただけるものと思っています。『阿南市の先覚者たち』の冊子は、市内の小中学校にも配布されており、今後は教育現場においても大いに活用されることを願っています。

阿南中学校校舎改築

建築後40数年が経過し、老朽化に加え、耐震性が著しく劣っていました旧校舎を改築するため、第1期工事とし

て、およそ21億7千万円をかけ、昨年1月に着工した校舎棟が多数の関係者の皆さま方のご理解とご協力を賜り、7月末に完成しました。完成した新校舎は、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造3階建、延べ床面積約8732平方メートルの校舎と、鉄骨造平屋建、延べ床面積約1062平方メートルの駐輪場です。校舎は上から見ると口の字型の建物になっており、中庭を囲むように南側に普通教室、北側に特別教室を配置した構造となっています。

すでに、8月初旬には旧校舎からの引越し作業を済ませ、9月からの新しい校舎での授業に備えてきたところでございますが、初めて新校舎に入った生徒たちからは大きな歓声が上がっていました。

本年10月からは第2期工事として、旧校舎の解体除却工事に取りかかり、来年1月頃からは体育館の改築工事を行うこととしています。そして、仕上げとなる第3期工事では旧体育館の解体除却工事および運動場などの外構整備工事を行い、平成28年春頃にすべての工事を終える予定です。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成する市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。